株式会社セキュア（証券コード：4264）

フィジカルAIインフラカンパニーについて

～2026年12月期第3四半期決算説明資料より抜粋～

SECURE

Company
SECURE Inc.

Ver.
2026/11/12

フィジカルAIインフラカンパニーへ

物理セキュリティで培った実装力と新たにM&A・資本業務提携で獲得した機能を基盤に、
2027年12月期以降、**フィジカルAIインフラカンパニー**へと変化・飛躍を図る

出発点｜既存の強み

**物理セキュリティの
ソリューションカンパニー**



ソフトウェア
映像管理・分析・クラウドサービス

ハードウェア
カメラ・センサー・IoT機器

AI技術
行動認識・異常検知

M&A・資本業務提携による事業基盤の拡充

**2024 - 2026年にかけて、
M&A 5件・資本業務提携2件を実施、
フィジカルAIの実装に必要な機能を
獲得・強化**

M&A実績	資本業務提携
TTG / TESCOOM CCTV SYSTEM SOLUTION / JTN / MEDIA SYSTEM メディアシステム / Idealize Technology 日東通信株式会社 Switch to the Next Generation Network	BUFFALO / RICOH

目指す姿

フィジカルAI
インフラカンパニーへ

**AI×ハードウェア×現場実装により
社会・産業のあらゆる物理空間にAIを
実装するために必要な要素を提供**



フィジカルAIが求められている社会的背景

人手不足による現場の省人化・
効率化ニーズの拡大

適用領域の例 ▶ 小売 介護 医療 飲食 警備 …

© SECURE Inc. All Rights Reserved.

セキュアが考えるフィジカルAI市場の構造と社会課題

現実空間をカメラで認識し、AIによる解析・判断を通じてロボットや機械を動かす「フィジカルAI」
今後は、**カメラシステムがOS的役割を担うことから、物理セキュリティ構築の技術・ノウハウや店舗無人化等の実績**を活かし、**フィジカルAIインフラカンパニー**として深刻化する労働供給不足など社会課題の解決を目指す



フィジカルAIで解決を目指す社会課題

全国の労働供給不足（予測）

2030年 約 **342** 万人 ▶ 2040年 約 **1,100** 万人

関連する現場の職種別労働供給不足（予測）

引用:『未来予測2040』（リクルートワークス研究所）

職種	2030年	2040年
商品販売（小売・店舗）	約 40.2 万人	約 108.9 万人
介護サービス（介護施設）	約 21.0 万人	約 58.0 万人
接客給仕・飲食物	約 17.9 万人	約 56.6 万人

© SECURE Inc. All Rights Reserved.

フィジカルAIインフラカンパニーへのトランスフォーメーション

現在は物理セキュリティ及びリテールAIへの展開を行うが、中長期的にはより広い領域への事業展開を目指す
事業展開に必要な共通基盤であるインフラエンジニアリング機能のリソース確保と内製化を図り、事業全体の収益力も強化

物理セキュリティ

セキュリティソリューション



- 監視カメラ・入退室管理
- AI画像認識による異常検知

警備DX／ロボット





フィジカルAIの活用領域



リテールAI

- 無人決済
- 店舗運営の省人化
- オペレーション効率化



介護・医療



工場・製造現場



物流施設

現場実装を支える共通基盤

インフラエンジニアリング



- 現場への実装
- インストレーション

将来的に人手不足が予想される分野
内製化による収益力強化

© SECURE Inc. All Rights Reserved.

リテールAIの事業展開例

当社が建物全体に導入したカメラ・センターで、「どこで」「なにか」起きているかを把握
「カメラ・センサー」と「人」、そして、「フィジカルAI」をつなぐ役割を担う

STEP ①
無人店舗ソリューション



SECURE
AI STORE LAB 2.0



TOUCH TO GO

セキュア、TTGのタッグで様々な規模・
業種にアプローチが可能。
小売店舗の無人化・省人化に関する
ソリューションを提供。

STEP ②
（カメラ+インカム）× 人への実装



接客に際して、お客様からの質問を
検知。回答などについてインカム
から支援。（現在開発中）



STEP③
フィジカルAIとの連携



例）

- 棚の前の決まった位置で、台車から商品を取り、空き棚に陳列。
- 夜間に届いた荷物を、売り場の近くまで運搬する。

© SECURE Inc. All Rights Reserved.

2027年12月期から開示予定のセグメント

2027年以降は、セキュリティソリューション、リテールAI、インフラエンジニアリングの3セグメントで開示する方針
セキュリティソリューションで更なる成長を実現し、その収益基盤のもと、リテールAIを次の成長ドライバーへと育成
インフラエンジニアリングの内製化により、収益領域の拡大・成長を図る

SEGMENT 01

成長

セキュリティソリューション

これから迎える本格的なAIの実装フェーズ に向けて更なる成長を目指す

SECURE　SECURE KOREA　TESCOM CCTV SYSTEM SOLUTION

AI技術・プロダクト供給

クロスセル・技術基盤共有

SEGMENT 02

育成

リテールAI

無人化・省人化・万引き削減等に留まらない新しいAI用途の市場を生み出す

SECURE AI STORE LAB 2.0　TOUCH TO GO

SEGMENT 03

領域拡大

インフラエンジニアリング

人手不足が課題になる同業界において高い専門性とリソースを確保し、品質と収益性の向上を図りつつ、事業全体の成長を図る

JTN　MEDIA SYSTEM メディアシステム　Idealize Technology 日東通信株式会社 Switch to the Next Generation Network

3つのセグメントがシナジーを発揮し高め合うことで、唯一無二のフィジカルAIインフラカンパニーを目指す

© SECURE Inc. All Rights Reserved.

M&A実績（JTN、日東通信）

JTN、日東通信の2社のM&Aを通じて
設備施工やネットワークインフラに関する専門性・提供体制を拡充

2024年1月 完全子会社化

株式会社ジェイ・ティー・エヌ

会社概要

所在地	神奈川県横浜市中区初音町1-7-1
設立	2001年10月
従業員数	16名（2026年9月末時点）
事業内容	電気工事・電気通信工事、監視カメラ・入退室管理・LAN等の設備工事

M&Aの目的・獲得する強み

- **専門的な施工技術・ノウハウの獲得**
  監視カメラ・入退室管理・通信設備の施工対応力を強化
- **施工人材の確保・施工体制の強化**
  専門人材をグループ内に取り込み、施工能力を拡充

現状及び今後の方針

SECURE ESの中核を構成しており、堅調に成長

2026年12月 株式譲渡実行予定

日東通信株式会社

会社概要

所在地	宮城県仙台市青葉区堤町3-1-15
設立	1971年6月
従業員数	108名（2026年9月末時点）
事業内容	通信システムの設計・構築、電気通信工事、通信機器販売・保守

M&Aの目的・獲得する強み

- **東北地域の施工・保守体制の拡充**
  主要都市をカバーする拠点網を獲得し、対応エリアを拡大
- **専門人材・技術力の強化**
  有資格者や施工実績を取り込み、技術力を高める

現状及び今後の方針

10月13日に子会社化を発表／12月18日に譲渡実行予定

設備施工・ネットワークインフラの専門性と提供体制を拡充し、フィジカルAIの社会実装を支える基盤を強化

電気・通信設備の設計・施工から保守まで、物理空間へのAI導入に必要な機能を強化

© SECURE Inc. All Rights Reserved.

M&A実績（メディアシステム、テスコムジャパン）

メディアシステムは官公庁・公共領域への販路拡大に、
テスコムジャパンは柔軟かつ最適なフィジカルAI実装に向けたハードウェア設計・開発力獲得に貢献

2025年4月 完全子会社化

株式会社メディアシステム

会社概要

所在地	福島県福島市岡部字岡部2-11
設立	1993年10月
従業員数	9名（2026年9月末時点）
事業内容	入退室管理・監視・AI顔認証・AI画像解析システム、音響・映像システム、放送・通信システム等 各種システムの構築・設計・施工・保守

M&Aの目的・獲得する強み

- **官公庁・公共領域への販路獲得**
  法務省・警察・自治体等への納入実績を活用
- **公共領域での高度な案件対応力**
  設計・施工ノウハウと専門資格者の知見を獲得

現状及び今後の方針

SECURE ESを構成しており、堅調に成長

2026年7月 完全子会社化

株式会社テスコムジャパン

会社概要

所在地	京都府京都市山科区勧修寺東金ヶ崎町45
設立	2000年8月22日
従業員数	39名（2026年9月末時点）
事業内容	CCTV機器・セキュリティ機器・電子応用機器の製造・販売 電子回路設計・機構設計・各種金型設計・基板実装・組立

M&Aの目的・獲得する強み

- **ハードウェアの設計・製造機能の獲得**
  回路・機構・金型設計から基板実装・組立まで対応
- **顧客・現場に応じた製品開発力の強化**
  OEM/ODMなどを活かし個別ニーズへの対応力を拡充

現状及び今後の方針

シナジー発揮に向けSECURE・TTGにおける複数のプロジェクト案件との連携を実施

官公庁・公共領域への販路を拡大

既存の民間企業向け販路に公共領域の顧客接点を追加

フィジカルAIに必要なハードウェア開発力を強化

現場・顧客ごとの要求に応じたAIシステム実装を強化

© SECURE Inc. All Rights Reserved.

M&A実績（TOUCH TO GO）

既存のAI Store事業と無人決済技術・顧客基盤を組み合わせ、
小売店舗の省人化・効率化を支援するソリューションの提供を加速

2026年4月 子会社化（56%取得）

株式会社TOUCH TO GO

会社概要

所在地	東京都新宿区西新宿2-6-1新宿住友ビル19階
設立	2019年7月1日
従業員数	53人（2026年9月末時点）
事業内容	無人決済・省人化システムの企画・開発・販売・保守
株主構成	株式会社セキュア 56.2% JR東日本スタートアップ株式会社 20.0% 株式会社ファミリーマート、東芝テック株式会社、 グローリー株式会社の3社で合計23.8%

現状及び今後の方針

PMIに関しては想定対比遅れが見られるも
引き続きシナジーの発揮に向けて取り組みを継続

M&Aの目的・期待するシナジー

① リテールAIソリューションの強化

既存AI Storeと無人決済技術を組み合わせ、店舗形態に応じた提案力を拡充

TTG-SENSE



棚1本から始められ店舗区画に合わせて自由にレイアウト設計可能な次世代型・省人化スマートストア

TTG-MONSTAR



「券売機」「セルフスキャンレジ」「時間課金モード」の1台3役のクラウドPOS型セルフオーダー決済端末

② 顧客基盤の相互活用による販路拡大

セキュア既存顧客とTTGの導入先を相互活用し、クロスセルを推進

③ グループ経営資源の活用と収益性改善

施工・保守体制、開発・製造ノウハウ、販売網の連携を推進

リテールAIのソリューション提供力を強化し、フィジカルAIの社会実装を加速

小売店舗の無人化・省人化を通じ、人手不足の解消と生産性向上に貢献

© SECURE Inc. All Rights Reserved.

資本業務提携（株式会社バッファロー及びリコージャパン株式会社）

株式会社バッファロー様とは特にハードウェアの調達力に関して、
リコージャパン株式会社様とは全国規模への販路拡大とデータ活用について連携

2025年2月 資本業務提携を締結（保有比率12.9%）

株式会社バッファロー（旧メルコHD）

提携先の概要

事業・強み	IT周辺機器・ネットワーク機器の製品力／調達力
提携の位置づけ	現行製品と業務プロセスを組み合わせ、短期のコストシナジーと中長期の事業連携を追求
主な機能	共同購買、品質管理、施工・設置、サポート

資本業務提携の目的

- **共同購買による調達力強化・原価最適化**
  購買チャネルを活用し、機器・部材の調達を効率化
- **業務集約によるコスト・運用効率改善**
  施工・設置やコンタクトセンター等の機能を連携

現状及び今後の方針

共同購買により、HDDをはじめとする機器・部材の安定的な確保が可能に。コンタクトセンターの連携、共同開発について継続実施中。

調達力の向上とコスト競争力の強化

供給の安定化・購買効率化とオペレーション改善

2026年3月 資本業務提携を締結（保有比率 9.1%）

リコージャパン株式会社

提携先の概要

事業・強み	創業以来ワークプレイスに向けた様々なソリューションを提供してきたノウハウ及び全国的な営業・サービス網
提携の位置づけ	フィジカルセキュリティの販路拡大 同社のデジタルプラットフォーム RICOH Spacesとの連携等
顧客基盤	全国約100万事業所

資本業務提携の目的

- **全国の顧客・販売網を通じた販路拡大**
  中小企業から大企業まで新規顧客層へ提案を拡張
- **大型案件の開拓と共同ソリューション開発**
  データ活用とAI分析によるソリューション創出

現状及び今後の方針

専任営業体制を発足、段階的な全国展開へ
2030年度：協業による年間売上100億円を目標

全国規模の販路・顧客接点を獲得

フィジカルAI関連サービスを全国へ展開する基盤

© SECURE Inc. All Rights Reserved.